

一般質問

定例会では、提案された諸議案に関係なく、議員自身が議長に通告し、市長及び関係理事者に質問する日（一般質問日）を設けています。今定例会は、9月16日、17日に9人の議員が活発な質問を展開しました。ここにその一部を掲載します。詳細は、市議会ホームページでご覧いただけますので、是非活用ください。

一般質問 奥田 寛 (至誠会)

住民への説明と 支持率の確認

問 市長・副市長は大きな権力を持っており、各種団体の代表が逆らうことは難しいが、住民が支持しているかどうかは別である。団体推薦をたくさん集めながら選挙に敗北する市長の例が後を絶たず、8年前に森下市長が誕生したときに、普段から住民説明会やアンケートなどにより、市民からの支持率を確認して政策を行っていくべきだと申し上げてきたが市長の考えは。

答 議会制民主主義においては、私が提案したことに對して議会で承認をいただき、前

会派名簿

公明党 (4名)
大北かずすけ・亀甲義明
森下みや子・成谷文彦

日本共産党 (2名)
竹森 衛・西川正克

至誠会 (2名)
小川和俊・奥田 寛

政志会 (2名)
たけだやすひこ・松木雅徳

自由民主党 (2名)
細川佳秀・奥田英人

檀原未来 (3名)
宇佐美孝二・廣井一隆
大保由香子

いずれの会派にも所属しない議員 (8名)
杉井康夫・竹田きよし
榎本利明・高橋圭一
河合 正・榎尾幸雄
松尾高英・水本ひでこ
(平成27年9月16日現在)

に進めていく。議員が市民の代表として議論をし、承認をいただいていることを非常に重く受けとめており、改めてアンケート等を行うことは考えていない。

問 ホテルに関する市民への説明のために、副市長が各自治会を訪問していると思うが、そこで市長への推薦を出してほしいという話をされたらと聞いているが、事実か。

答 行政に対する批判のピラが出ており、「今の市はどうなっているのか」などの疑問や批判の声が届いている。その中で、自治会長等いろいろな話をさせていただいている。行政についてのさまざまな話をしているとは思いますが、推薦をお願いしたという事実はない。

問 推薦を依頼されたら認識

している人がいる。住民説明会の開催依頼にせよ、プレッシャーを感じたという方もいる。自重すべきではないか。ある自治会長は選挙に巻き込まれたくないと断ったと聞かされた。その地区で説明会が行われなければ、市長から直接説明を受ける機会を逃す住民も生まれてしまう。自治会主催でなく、説明がしたければ、市主催で誰でも参加できるかたちで行うべきでは。

答 さまざまな質問や要望が寄せられており、その地区などに行かせていただいたこともある。その中で、自治会単位などの小さな単位でいろいろなことを話せる場を開いてほしいとお願ひしており、断られた自治会もある。その際の意見としては、選挙が始まれば市長の話や説明を聞く場があるのではとちらにするとの

理由であった。圧力をかけたことはないし、また余計な疑問が生じないようにもしたい。

問 出前講座のように市長が説明に行く形式にして応募を受け付ければ、市ではなく相手の主催であっても、相手が希望した場であるので、推薦依頼の疑惑などが生じるすきはなくなるのでは。

答 出前講座というスタンスで行うつもりはなく、ほかにも手法が多々あると思う。自治会長自身も気が進まなければ断ると思う。断られないということは、話を聞いてもらえることと認識している。こちらの話し方や説明の仕方には十分留意をしていく。いろいろな方に顔が見える形です話をして説明をするというスタンスで進めていきたい。

問 説明を聞きたい市民は、

副市長に直接申し込みをすればよいのか。

答 私だけではなく、ほかにも多くの市の窓口があり、そこを通じて入ってくる場合もある。窓口は常にあいている。

問 「檀原市のこと」をみんなが決めよう会」が文書によって公開討論会への出席を求め申し入れをしたが返事はなかった。私用なら許されるかもしれないが、公務としては、欠席の返事すらしなくというのはいずれかと思うが。

答 返事をするかしないかは、さまざまな判断によってなされる。申し入れの内容によつては、出席する場合もあり、返事をしない場合もある。

マニフェストと 総合計画

問 「森下ゆたかネットワーク